

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 山田 雅太 住所 中原区今井南町28-41 構成団体 認定特定非営利活動法人教育活動総合サ ポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数32,784人、貸室利用件数2,021件、展示室利用者数9,140人
収支実績	収入総額26,751,935円（指定管理委託費23,617,866円、利用料金収入2,421,342円、雑収入712,727円） 支出総額26,751,862円
サービス向上の取り組み	・貸室の施設整備にあたり、イベントホールと展示室のLED化、和室の畳表替え、障子の張替など利用者意見を反映して実施した。 ・施設備品について、貸室で無料貸出しを行っているプロジェクターは購入後10年以上経過していることや利用希望が重複した場合に備え、利用者の利便性向上を図ることを目的に1台追加した。 ・利用者の声を運営に反映するため、通年来館利用者の意見・要望の収集、年3回の貸館利用者アンケート、主要事業毎の満足度アンケートを実施し、PDCAサイクルにより業務改善・サービス向上に対する取り組みを行った(具体例:備品の整備など)。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	事業成果の測定	事業実施による成果の測定が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	事業計画に沿った過年度からの継続的な取り組みを行い、安定的、継続的な事業を実施したほか、高津区民祭や大山街道フェスタなどで積極的に協力を行うなど地域の文化活動に貢献していると認められる。 常設展示、企画展、各種事業を実施することに加えて、平成30年度はふるさと館の認知度向上や館で実施する事業などの広報を目的に、各種媒体を利用した積極的なPRを行った。結果として貸館利用者が前年度の30,458人から約2,300人増の32,784人、それに伴い来館者総数も前年度63,499人から約2,300人増の65,655人となった。 総合的な運営状況として、施設の設置目的に沿った取組が行われていると認められる。			
管理業務の実施状況	維持管理等	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3
	人材育成	業務に関する研修を行い、職員の資質の向上に努めているか	5	3(0.6)	3
	危機管理等	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3
(評価の理由)	施設の老朽化が進む中、定期点検等を遺漏なく行い、施設点検表を用いた管理や各種修繕を実施するなど適切な施設管理が為されている。 貸室利用について、昨年度1,870件から今年度2,021件と大幅に増加した。利用者意見を酌んだ施設整備(プロジェクターの増設)や貸室利用の促進策(Youtubeでのイベントホール紹介、貸館のチラシを広く公共施設等に配架依頼)に努める等、精力的に利用促進策に取り組んでいることは評価に値する。また、利用料金の未収金を発生させることなく徴収事務を的確に執行している。 区役所が主導する防災関連の各種施策への積極的な参加・協力、防災に関する訓練や研修の実施、独自の備蓄品の充実など、万一の事態に備えた体制構築も着実に実行されている。				
事業実施状況	施設を活用したサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか。	10	4(0.8)	8
		地域団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか			
	施設の利用に関する業務	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか	15	4(0.8)	12
		充実した広報活動等により、施設の利用促進が図られているか			
	大山街道についての資料の展示等に関する業務	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	3(0.6)	9
常設展示について、魅力ある展示の工夫につとめているか					
事業の開催に関する業務	郷土理解の促進に寄与する文化事業や市民のニーズに即した文化事業を行っているか	5	4(0.8)	4	

収支状況	(評価の理由) 地域連携や地域活性化に向けた取り組みとして、春のふるさと館まつり、高津区民祭、ふるさと館サポーターズまつり、大山街道フェスタなど季節ごとイベントの開催や連携協力を行い実施し、大山街道の魅力やふるさと館のPRを行った。これらのイベントは地域活性化や地域団体との連携強化に寄与しただけでなく、通常の展示室利用者とは異なる層の市民・区民が来館したことで館の認知度向上にもつながることであり、評価できる。 継続して取り組んでいる小中学生を対象とした各種地域学習については、教育に関する専門性の高さを活かし、館への生徒受け入れ、依頼による講師派遣、子ども大山街道探検クラブの活動、夏休み期間の自由課題支援など、子ども達の郷土理解を多方面から促進できている。歴史文化探求施設としての役割を十分に果たしている。 展示室へのスロープにも大山街道とニヶ領用水等の歴史など展示し、ゆっくりと歩きながら鑑賞することで常設展がより魅力的なるよう配置するなど、工夫が見られた。企画展において、展示物について理解が深まるよう「企画展示説明リーフレット」を作成、配布するなど工夫が見られた。				
	安定性	適切な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	効率性	市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行が図られているか	5	4(0.8)	4
(評価の理由) 前年度と同程度の経費執行状況ながら、利用料金収入等の増収分については、新たな備品購入や照明の一部LED化を実施するなど、市民サービス向上に役立て、限られた予算内で工夫した執行を行い取り組みを実施していることなど評価できる。 収入の範囲内で経費をまかなっており、適正な予算執行がなされていることは評価できる。					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A:80点以上 B:70点以上80点未満 C:60点以上70点未満 D:40点以上60点未満 E:40点未満

A:特に優れている B:優れている C:適正である D:改善が必要である E:問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>基本方針や運営方針に則り、継続して安定した管理運営を行った。 過去取り組んだ事業を発展させようという視点はもちろん、その経験を生かして新たな事業展開等、施設の発展に向けた視点をもって事業執行しているといえる。 博物館事業・歴史文化探求事業・地域活性化事業それぞれにおいて、創意工夫し意欲的に取り組んでおり、貸館業務についても、利用件数、利用料金収入ともに増加するなど、館の努力が認められる。また、広報活動においても、市政だより高津区版、東急の広報誌、神奈川新聞など様々な媒体を活用した、館の紹介や講座開催の周知など積極的に行い、ふるさと館のPR、利用促進策を実施したことは、館の努力が認められる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>過年度の取組みを踏まえ、人材育成や利用者ニーズ把握等、サービス向上に係る各種取組みを継続しながら、事業計画に基づき事業を適正に実行するとともに、新たな取組にチャレンジすることを期待する。 貸館業務については、公平かつ平等な利用を確保しつつ、貸室利用件数や稼働率の好調を維持すること。また各種機会を捉えた貸館利用料金収入の向上の実現に向けて一層工夫と努力を行うこと。 施設管理にあたっては、安全な利用のための各種設備機器のメンテナンスはもとより、利用者意見を踏まえた設備の改善・充実を継続して行い、利用者にとってより快適で利便性の高い施設となるよう工夫すること。 これまでに構築した地域団体との良好な関係を維持し、地域主体の行事への積極的な協力等や館主催事業における連携をさらに深めること。また、これまでふるさと館を利用していない市民、団体を誘客する方法の検討を行うなど、各種機会を捉えて利用者の増加に向けて一層努めること。 市民はもとより来街者や訪日外国人などにとって魅力ある館となるよう、広報や展示内容の充実にも努めるとともに、さらには大山街道や高津区の振興に寄与できるよう、より一層の努力と工夫を行いふるさと館の管理運営を実施すること。</p>
